

写

上下水第 4461 号
令和 3 年 2 月 17 日

高田区地域協議会
会長 本城 文夫 様

上越市長 村山 秀幸
(都市整備部下水道建設課)



高田区における「内水ハザードマップ」作成及び住民への周知について（回答）

令和 3 年 2 月 8 日付けで提出のあった標記の意見について、下記のとおり回答
します。

記

当市では、近年、頻繁に発生する集中豪雨等による浸水被害に対し、早期の解消と軽減を図ることを目的に、平成 31 年 3 月に上越市雨水管理総合計画を策定し、雨水幹線や排水ポンプ整備などのハード対策を実施しているほか、ソフト対策として、水位計設置による水位観測情報の提供や、円滑な自主防衛を図るための内水ハザードマップ作成に向けた検討を行っているところであります。

内水ハザードマップの作成には、国が推奨する浸水シミュレーションを用いた解析による方法のほか、浸水実績や地形情報等を活用した簡易的な方法があり、市では簡易的な方法を検討しておりますが、作成にあたっては、浸水シミュレーションと同様に、各地域における地形の状況や、雨水排水路の大きさや勾配などのデータを整理した上で作成していく必要があります。

また、現在、国では、有識者等で構成する「下水道による内水浸水対策に関するガイドライン類改訂検討委員会」において、内水の浸水想定区域図の作成が進むよう、一部の解析を省略した簡易的な手法など、内水ハザードマップ作成を促進するための見直しを進めているとお聞きしております。

このようなことから、市としましては、高田区のみならず、市民の皆さんにわかりやすい情報を提供することが重要であると考えており、国が進めている改訂内容と整合を図りながら、引き続き、作成時期や対象範囲、記載内容等を検討してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

